

受講者の方へ

当センターでは感染症予防対策として、下記のとおりご協力をお願いしております。

なお、5月8日から新型コロナウイルス感染症が感染症法上の「5類感染症」に変更されております。

しかしながら、当センターの講座はほとんどが討議または実習を伴う複数日数の宿泊型研修であり、マスク着用等がなされていないと、感染者発生の場合に感染拡大のリスクが高まり、皆様の所属事業場の業務に影響を及ぼすと考えられます。このため、当センターでは引き続き、マスク着用等の感染予防対策を継続いたします。ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

ご来所にあたっての確認

- ① 下記に該当する場合は、本センターに連絡いただくとともに、受講をご遠慮ください。
 - ・ 37.5℃以上の発熱等、感染症の症状のある場合
 - ・ 受講前5日以内に、同居の方の新型コロナウイルスの陽性が判明した場合、または、職場の同僚等と会話の際にマスクを着用していないなど感染対策を行わず飲食を共にし、その方の陽性が判明した場合
- ② 緊急時に、受講者個人の身体状況のうち下記事項に該当するか否かについて、お伺いする可能性があります。

- ・ 糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD 等)等の基礎疾患の有無
 - ・ 透析を受けている、免疫抑制剤や抗がん剤を服用している等
- ③ 保健所等の公的機関に対し、受講者等の氏名・連絡先の情報を提供することがあります。

研修中のお願い事項

- ・ センター内では、食事中、入浴中と各人の宿泊室内を除き、マスクの着用をお願いします。当センターでは、不織布マスクの使用を推奨しております。研修が複数日にわたる方は、必要な枚数のマスクをご持参ください。また、来所の際にもマスクの着用をお願いします。
- ・ 来所時に非接触型体温計で検温いたしますので、時間に余裕をもってお越しください。このとき発熱(37.5℃以上)などの風邪様症状がある方は、受講をご遠慮いただくことがあります。また毎朝の検温をお願いしています(各宿泊室に体温計を用意しています)。検温の結果37℃以上の発熱がある、あるいは息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)がありましたら、お申し出ください。程度により、研修途中でも受講をご遠慮いただくことがあります。
- ・ 館内は土足厳禁ですので、上履きをご持参いただくことをお勧めいたします。トイレでは専用スリッパに履き替えることとなりますので、履物に手を触れずに着脱できるものをおすすめです。(上履き用スリッパを用意していますが大きめのサイズなので、ご自身の履きやすい上履きのご持参をお勧めします。) なお実習では、別途当センターで用意した安全靴に履き替えていただくことがあります。
- ・ 喫煙所は屋外になります。喫煙時には指が唇に触れることがありますので、喫煙前に手洗い又は手指の消毒をお願いします。また3密とならないよう、喫煙者間の間隔をとり、短時間で済ませるようにしてください。できれば、研修期間中は禁煙をおすすめします。

新型コロナウイルス感染症の予防のため当センターでは、令和5年5月現在、次のような対策を講じています。

- ・ トイレの洗面所は自動水せっけん、自動水栓です。ペーパータオルを用意しています。
- ・ 全ての教室・実習室の入口にアルコール消毒液を用意しています。
- ・ 教室では、2人掛机を1人で使用し交互に座る、または、1人掛机を使用するなどして、最低1mの間隔を空ける座席配置としております。
- ・ 講師および運営スタッフは、マスクを着用しております。
- ・ 教室は、機械換気により屋外の空気を導入するとともに、休憩時間に窓および出入口を開放して換気を行っております。
- ・ 実習で受講者が共用で機器類を扱う場合には、使い捨て手袋をご用意し、ご自由にお使いいただけるようにしています。
- ・ 実習中は、騒音に留意しつつ、随時換気しています。
- ・ 食堂は朝昼晩各2回ずつ、1日に計6回、消毒しています。
- ・ 食堂の入口にアルコール消毒液を用意しています。
- ・ 食堂の机上にはビニールの衝立を設置するとともに、隣に着席しないよう注意喚起の表示をしております。
- ・ 休憩時間などに休めるソファ等にも、隣り合って座ることがないように表示しています。
- ・ お風呂の利用は、同時にご使用いただける人数を制限しています。
- ・ 情報交流会(懇親会)は、当面の間、実施を見送ります。ご了承ください。